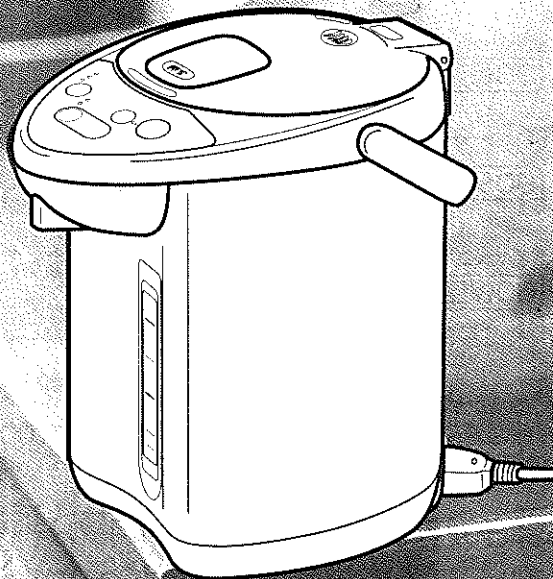
品番
PDJ-S型
PDJ-B型

家庭用
マイコン電動ポット
取扱説明書
〈保証書つき〉

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

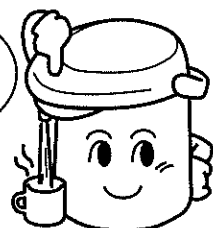
給湯時のお願い
沸とう直後に給湯を行うとお湯が出にくくなることがあります。その場合は、蒸気に注意して、一度上ぶたを開けていただくと直ります。

点検・修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

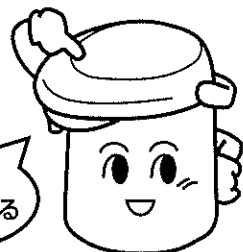
ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL　（　）

日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません。）

便利な機能の紹介

指1本で、ラクにお湯が注げる

電動給湯〈9ページ〉

お湯の保温温度が「98保温」「90保温」「60保温」の3段階から選べる

保温選択〈11ページ〉

98保温	約98℃に保温します。 カップめん、コーヒー、紅茶、番茶などを作るときに適しています。
90保温	約90℃に保温します。 98保温に比べ、保温時の電気代が節約できます。
60保温	約60℃に保温します。 低温で入れる高級茶（玉露）などを作るときに適しています。

（保温温度は水量・満水、室温・20℃、電圧・交流100Vの場合）

沸とう時間を延長させて、カルキのぬけたおいしいお湯がわかせる

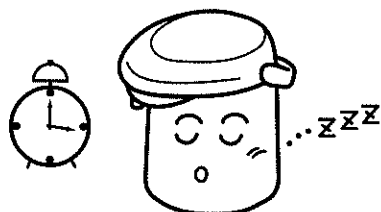
カルキぬき〈12ページ〉

保温中のお湯を、再び沸とうさせる

再沸とう〈12ページ〉

6時間後にお湯をわかせる

節電タイマー〈13ページ〉

タイマー終了の前から湯わかしを始め、終了後にはお湯が使えます。電気代が節約できます。

内容器の落ちにくい汚れが洗浄できる

クエン酸洗浄機能〈15ページ〉

もくじ

説明マークについて

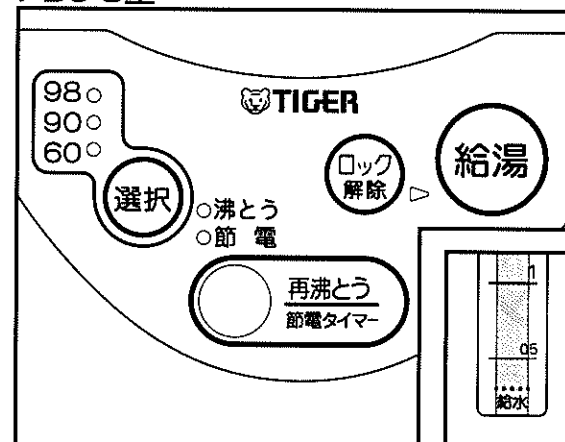
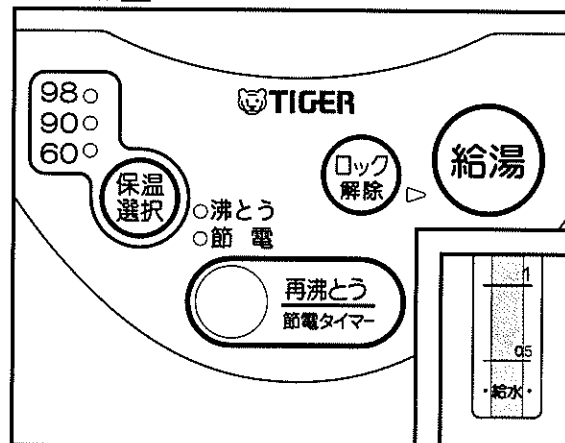
本文中に記載されている説明マークは、下記の意味があります。

おいしいお湯をわかすためのポイントと、商品を末永くお使いいただくためのお願いを記載しています。

ヒーターやマイコンが作動する音などについて説明しています。

操作・表示部について

この取扱説明書はPDJ-S型の操作・表示部、水量表示計（給水マークの表示）で説明を行っています。PDJ-B型は下図のような表示になりますが操作や性能上はPDJ-S型と同じです。

PDJ-S型

PDJ-B型

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

 この絵表示は行為を「禁止」する内容です。

（分解禁止）

● この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。

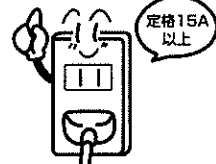
（強制・指示）

（差し込みプラグを抜く）

⚠警告

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

定格15A以上

電源コードは傷んだまま使用しない。
（傷つける・無理に曲げる・引っぱる・ねじる・たばねる・高温部に近づける・重いものを載せる・挟み込む・加工するなど）
電源コードが破損し、火災・感電の原因。

ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグ（磁石式）の先端にピン等金属片やごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないように注意すること。
感電やけがの原因。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。

⚠警告

満水目盛以上の水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。上ぶたを持って移動しない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

ポットを転倒させない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火のおそれ。

上ぶたを確実に閉める。
倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

蒸気孔に手をふれない。
やけどをするおそれ。
特に乳幼児には、さわらせないようにすること。

上ぶたを勢いよく閉めない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

蒸気孔をフキンなどでふさがない。
お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれ。

水以外のものをわかさない。
お茶、牛乳、酒、ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使用すると、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。
また、こげつき、腐食、故障、フッ素加工のはがれの原因。

氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

上ぶたをつけたまま、残り湯を捨てない。
上ぶたがはずれたとき、お湯がかかってやけどをするおそれ。
（残り湯の捨てかたは、10ページの「5.使い終わったら」を参照）

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。

⚠注意

不安定な場所や、熱に弱い敷物の上では使用しない。
火災の原因。

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因。
キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意すること。

1 安全上のご注意

⚠注意

この製品専用の電源コード以外は使用しない。電源コードを他の機器に転用しない。
故障・発火のおそれ。

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

差し込みプラグを抜くときは、必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電や、ショートして発火するおそれ。

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。
やけどの原因。

上ぶたを開けるときに出る蒸気にふれない。
やけどの原因。

湯わかし中は、お湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因。

給湯中に本体を回さない。
お湯が飛び散り、やけどのおそれ。

本体を持ち運ぶときは、上ぶたの開閉レバーにふれない。
上ぶたが開いてけがややけどをするおそれ。

お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。

お願い

●水のかかりやすい場所では使用しない。丸洗いはしない。底部はぬらさない。蛇口から直接水を入れない。
本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。

●タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

●熱に弱いテーブルなどの上に置かない。
テーブル、敷物などが変色、変形するおそれ。

末永くご使用いただくために、必ずお守りください。

●直射日光が長時間あたる場所では使用しない。
本体が熱くなるなど、故障の原因。

●蒸気孔をフキンなどでふさがない。
上ぶたの変形の原因。

●火気の近くでは使用しない。
変形・故障の原因。

●カラだきをしない。
水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。

●本体をさかさにしない。
底部が水にぬれていると、底部から水が入り、故障の原因。

●備長炭などの炭を入れて使用しない。
故障、フッ素加工のはがれの原因。

2 お使いになる前に

各部のなまえ

●注意シール
安全に関する重要な内容を記載していますので、はがさないでください。

●開閉レバー

●注意シール
安全に関する重要な内容を記載していますので、はがさないでください。

●蒸気孔

●注意シール
安全に関する重要な内容を記載していますので、はがさないでください。

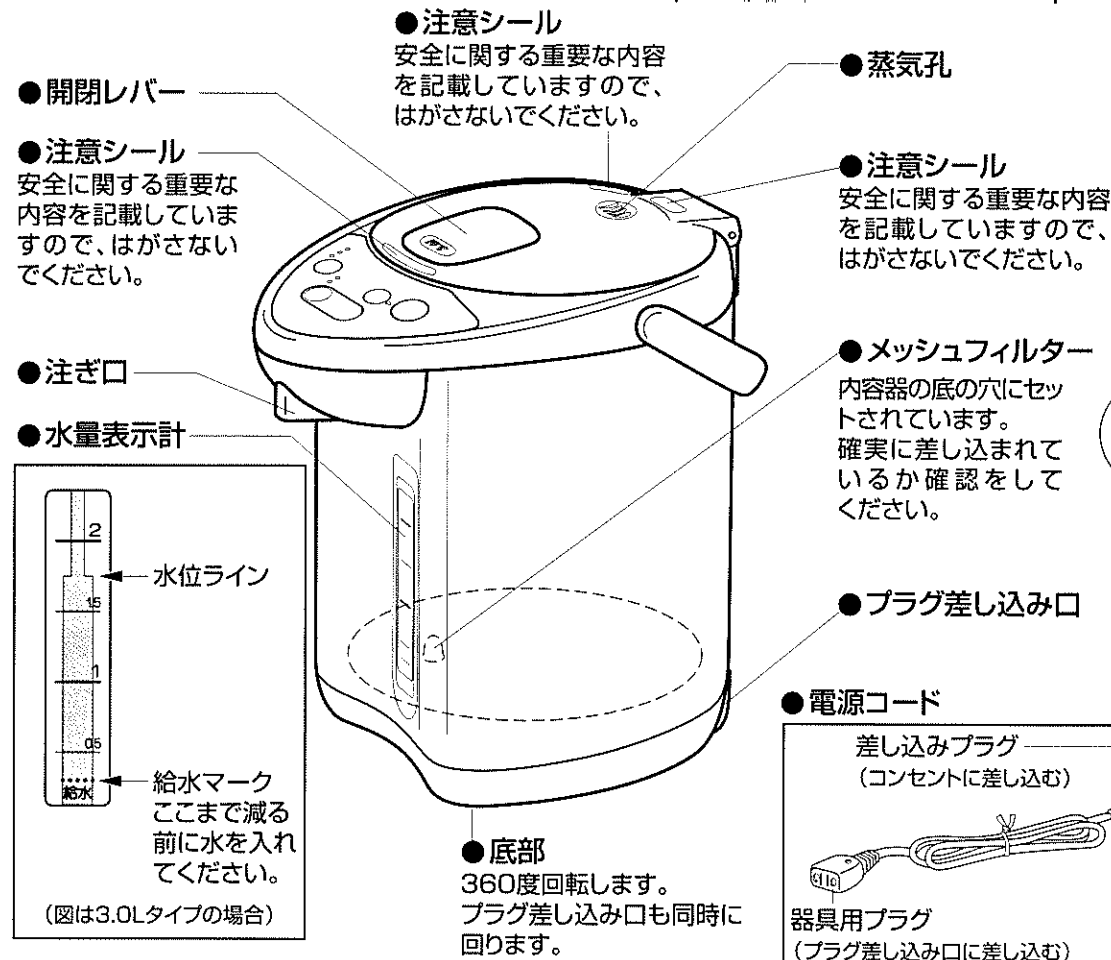
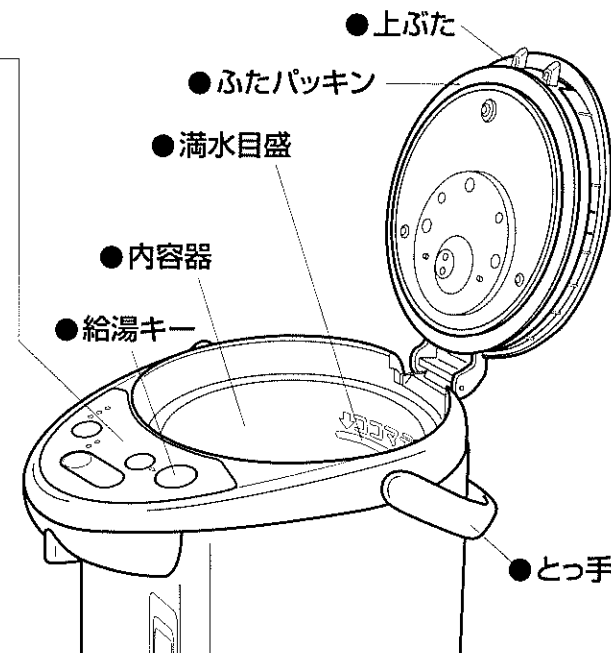
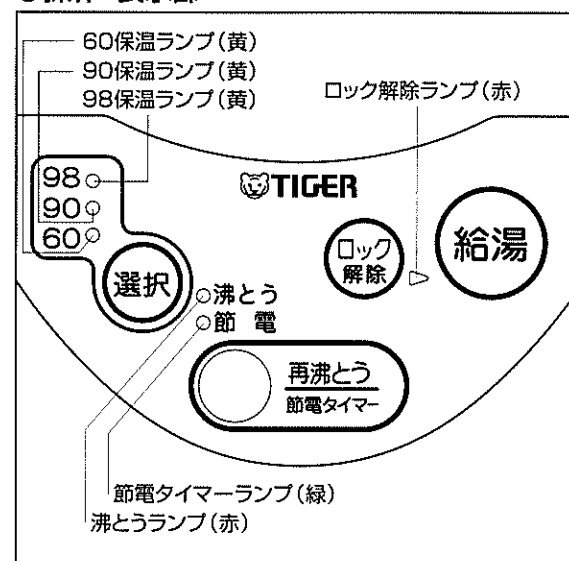
●注ぎ口

●水量表示計

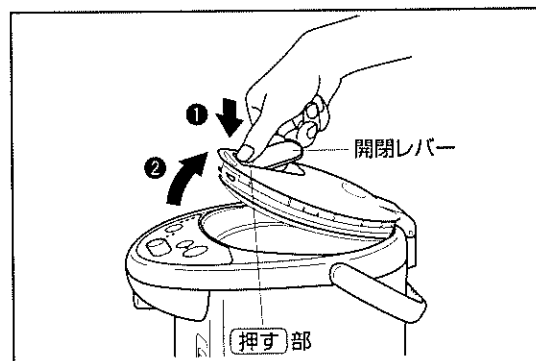
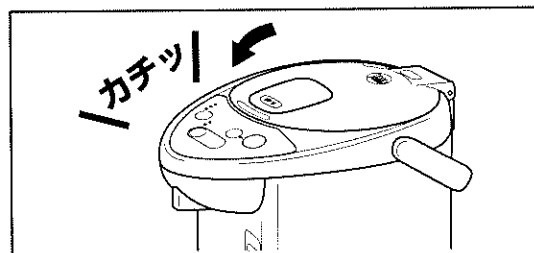
(図は3.0Lタイプの場合)

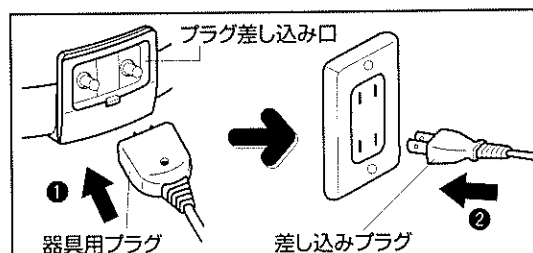
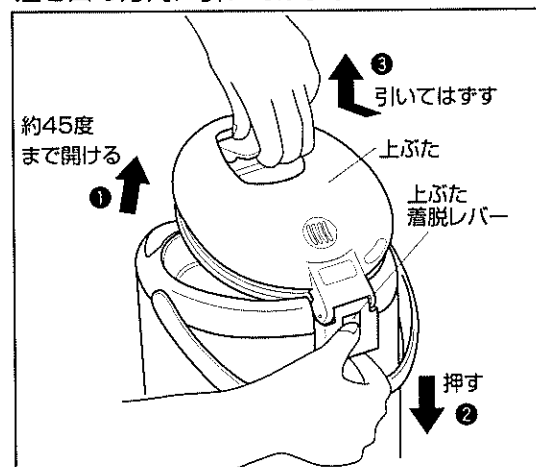
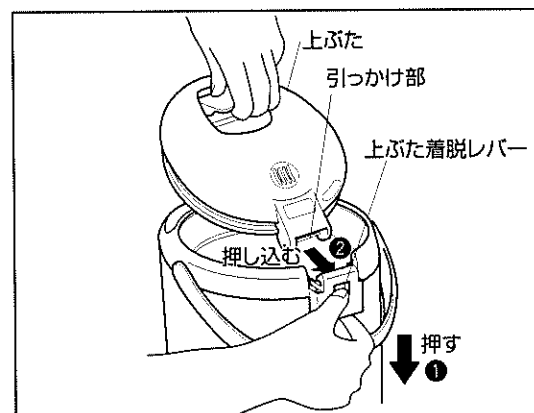
●メッシュフィルター
内容器の底の穴にセットされています。
確実に差し込まれているか確認をしてください。

●プラグ差し込み口

●底部
360度回転します。
プラグ差し込み口も同時に回ります。

●電源コード

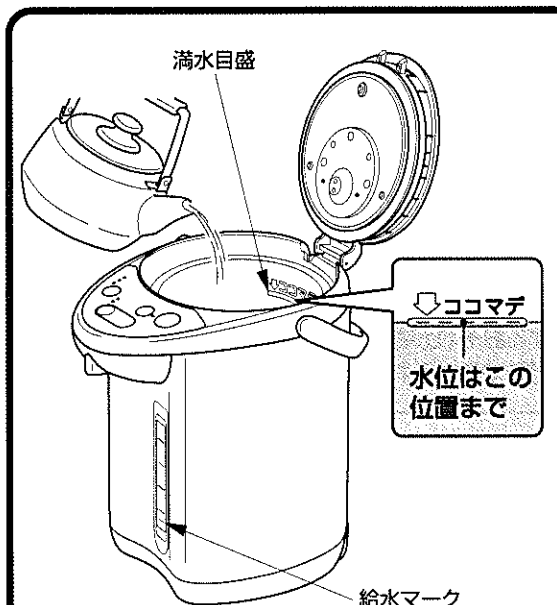
各部の使いかた

●上ぶたの開けかた・閉めかた
開けるときは、開閉レバーの 押す 部を親指で押してつまみあげ、上ぶたを開けてください。

閉めるときは、「カチッ」と音がするまで、上ぶたを閉めてください。

●上ぶたが確実に閉まっていないと、沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が多量に出て、やけどをするおそれがあります。

●電源コードの接続のしかた
電源コードの器具用プラグは、本体のプラグ差し込み口に差し込んでください。
器具用プラグには、磁石がついています。
電源コードの差し込みプラグは、コンセントに差し込んでください。

●上ぶたのはずしかた・取りつけかた
はずすときは、上ぶたを約45度の位置まで開け、上ぶた着脱レバーを押しながら、上ぶたを注ぎ口の方向に引いてはずしてください。

取りつけるときは、上ぶた着脱レバーを押しながら、上ぶたの引っかけ部を押し込んでください。

●操作キーの押しかた
操作キーは、指の腹でしっかり押し、ランプの表示で確認してください。

3 お湯のわかしかた

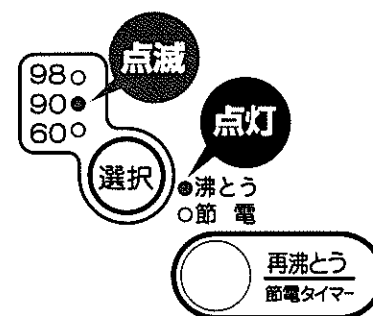
はじめてお使いになるときやしばらく保管されていたときは、一度手順どおりにお湯をわかしてください。電動給湯で注ぎそのお湯を捨ててからお使いください。

1 上ぶたを開け、やかんなどで水を入れる。

水は、「給水マーク」以上から「満水目盛」までの間に入れてください。

●「満水目盛」以上に水を入れないでください。お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。
●「給水マーク」以下の水でわかさないでください。カラだきによる内容器の変色、故障のおそれがあります。
●水道の蛇口から直接水を入れないでください。あふれるとショートや感電の原因になります。
●水を操作・表示部にかけないでください。感電や故障の原因になります。

●上ぶたを開閉するとき、「カラカラ」と音がしますが、万一転倒した場合にお湯の流出を防止する弁の音で異常ではありません。

2 上ぶたを閉める。
（7ページ参照）

3 電源コードを接続する。
（7ページ参照）

沸とうランプが点灯し、90保温ランプが点滅します。湯わかしが開始されます。

●湯わかし中に「ゴー」と音がしますが、湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。また、内容器が汚れていますと、特に音が大きくなりますので、内容器をクエン酸で洗浄してください。（15ページ参照）

カラだき報知機能について
●内容器に水が入っていない状態やごく少量の水量でお湯をわかしますと、ランプが交互に点滅してお知らせし、ヒーターへの通電がとまります。（17ページ参照）

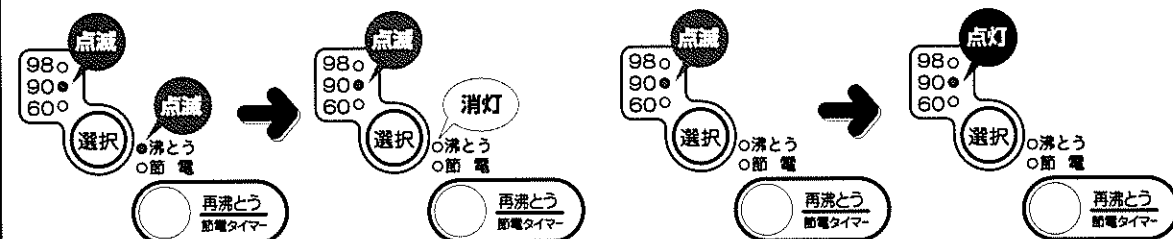
4 「98保温」または「60保温」にするときは、選択 キーで選択する。
（11ページ参照）

5 カルキぬきをするときは、再沸とう/節電タイマー キーで選択する。
（12ページ参照）

6 節電タイマーにセットするときは、再沸とう/節電タイマー キーで選択する。
（13ページ参照）

「沸とう」から「90保温（約90℃）」になるまでの作動について

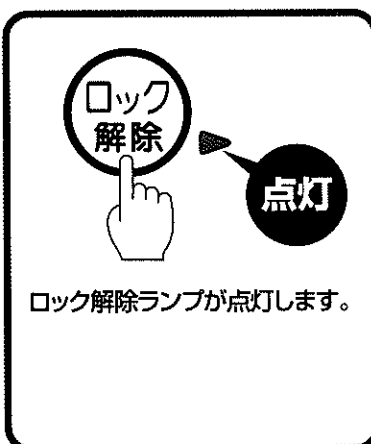
1 沸とうすると……
沸とうランプが点灯から点滅に変わった後、消灯します。（沸とうするまでの時間は13ページ参照）

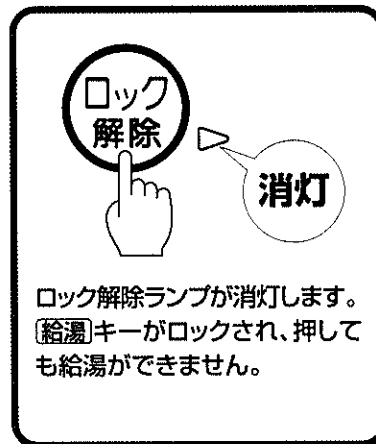
2 90保温（約90℃）になると……
90保温ランプが点滅から点灯に変わります。（90℃になるまでの時間は13ページ参照）

●湯わかし中や直後は、上ぶたを勢いよく開閉したり、お湯を注いだりしないでください。お湯が飛び散ったり、蒸気孔から蒸気がふき出して、やけどをするおそれがあります。
●蒸気孔から出る蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。

4 お湯の注ぎかた

1 ロック解除 キーを1回押す。

2 湯を入れる容器を注ぎ口に合わせ、給湯 キーを押す。

3 ロック解除 キーを1回押す。

ロック解除ランプが点灯します。

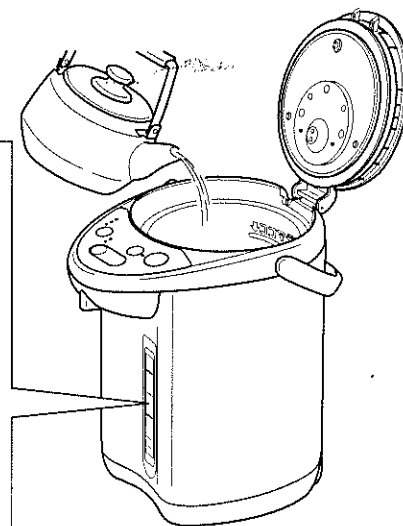
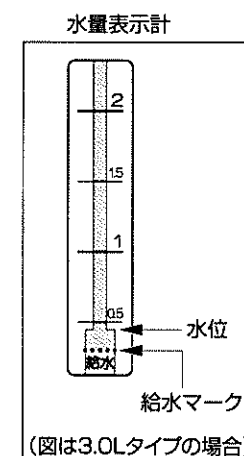
押している間は、作動音がして、注ぎ口からお湯が出ます。
お湯が途切れるのを確認してから容器を注ぎ口から離してください。

ロック解除ランプが消灯します。
給湯キーがロックされ、押しても給湯ができません。

※プラグをはずすと、給湯ができません。
※沸とう直後に給湯を行うと、お湯が出にくくなることがあります。その場合は、一度上ぶたを開けると直ります。
また内容器や内部のポンプが汚れていますと、お湯が出にくくなることがありますので、クエン酸洗浄を行ってください。（15ページ参照）
※給湯キーを押して給湯した後、ロック解除 キーを押さなくても約20秒後にロック解除ランプが消えて、給湯が「自動ロック」されます。

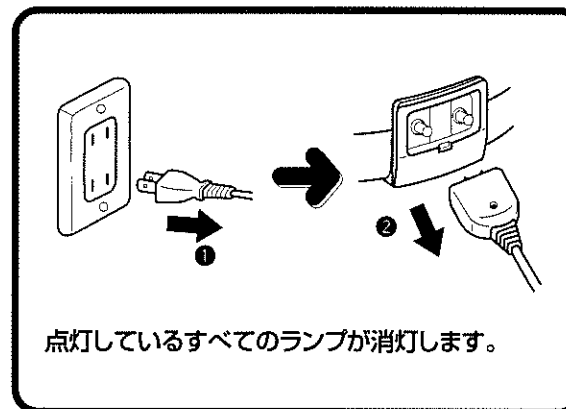
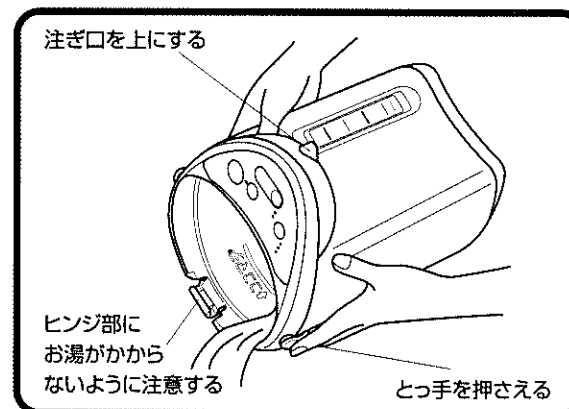
●お湯を注ぐとき、本体がまわらないように注意してください。お湯がこぼれて、やけどをするおそれがあります。
●お湯の量が少なくなると、注ぐときにお湯が勢いよく出ることがありますので、注意してください。

お湯が給水マークの近くまで減ったときは…

水量表示計の水位が給水マークに近づいてきたら、上ぶたを開け、水を入れてください。自動的に湯わかしが開始されます。

●約50℃以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしが開始されません。少しさめたお湯か水を入れてください。または、再沸とうさせてください。（再沸とうのしかたは12ページ参照）
●上ぶたを開けるときは、蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。

（図は3.0Lタイプの場合）

5 使い終わったら

1 電源コードのプラグをはずす。

点灯しているすべてのランプが消灯します。

2 上ぶたをはずす。
（はずしかたは7ページ参照）

3 下図の要領で、残り湯を捨てる。

4 上ぶたを取りつける。
（取りつけかたは7ページ参照）

●残り湯は放置しないでください。内容器の変色やにおいの原因になります。
●メッシュフィルターは、こまめに水洗いすると目づまりが少なくなります。
●上ぶたをつけたままで、残り湯を捨てないでください。お湯がかかって、やけどをするおそれがあります。
●注ぎ口を下にしたり、ヒンジ部から残り湯を捨てると、お湯が手にかかってやけどをしたり、故障の原因になります。
●メッシュフィルターの取りつけが不充分ですと、残り湯を捨てたときに、抜け落ちることがありますのでご注意ください。

6 保温について

お湯の保温温度が約98℃（98保温）、約90℃（90保温）、約60℃（60保温）の3段階に選べます。
本体に通電されると、始めに90保温ランプが点滅し、「90保温」に設定されます。

保温選択のしかた

選択キーを1回押すごとに表示部のランプが移動します。

（60保温を選択した場合）

※保温中の温度により高い設定温度に切り替えた時は、湯温により沸とうする場合があります。

90保温に設定した場合

沸とう後、約90℃になるまで90保温ランプが点滅します。お湯が約90℃になると、90保温ランプが点灯に変わります。（90保温になるまでの時間の目安は13ページ参照）

98保温に設定した場合

沸とう後、約98℃の高温に保ち続けます。

●設定中にプラグがはずれると、再度プラグを接続したとき、「90保温」に設定されますので、再設定してください。

60保温に設定した場合

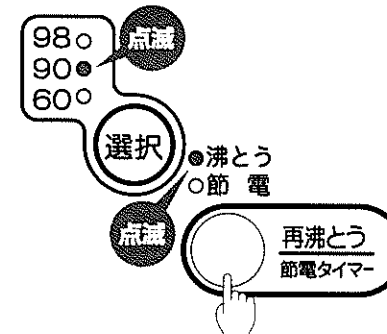
沸とう後、約60℃になるまで60保温ランプが点滅します。お湯が約60℃になると、60保温ランプが点灯に変わります。（60保温になるまでの時間の目安は13ページ参照）

●設定中にプラグがはずれると、再度プラグを接続したとき、「90保温」に設定されますので、再設定してください。

7 カルキぬきのしかた

カルキぬきは、沸とう中の時間を延長して、お湯のカルキ臭を減らす機能です。

水からの湯わかし時にカルキぬきをする場合

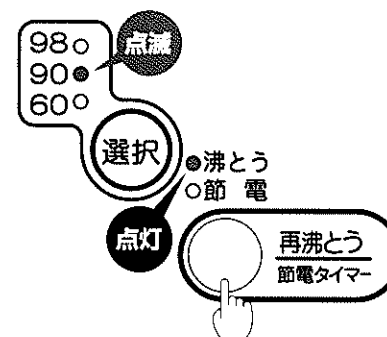
電源コードの接続（通電）後、再沸とう/節電タイマーキーを1回押してください。沸とうランプが点滅し、「カルキぬき」の設定でお湯をわかします。

保温時にカルキぬきをする場合

再沸とう/節電タイマーキーを2回押してください。沸とうランプが点滅し、「カルキぬき」の設定で再沸とうさせます。

終了すると、沸とうランプが消灯します。
※カルキぬきをすると、通常の沸とう時よりも蒸気の出る時間が長くなり、量も多くなります。

●高度浄水処理水の場合は、カルキがぬけにくくなります。この場合は、再度「カルキぬき」を行ってください。

8 再沸とうのしかた

保温中のお湯を、再び沸とうさせる機能です。
保温の状態で、再沸とう/節電タイマーキーを1回押してください。沸とうランプが点灯し、保温ランプが点灯から点滅に変わります。再沸とうが開始されます。

●再沸とうさせるときは、給水マーク以上のお湯が入っていることを確認してから行ってください。

満水時、再沸とうに要する時間の目安

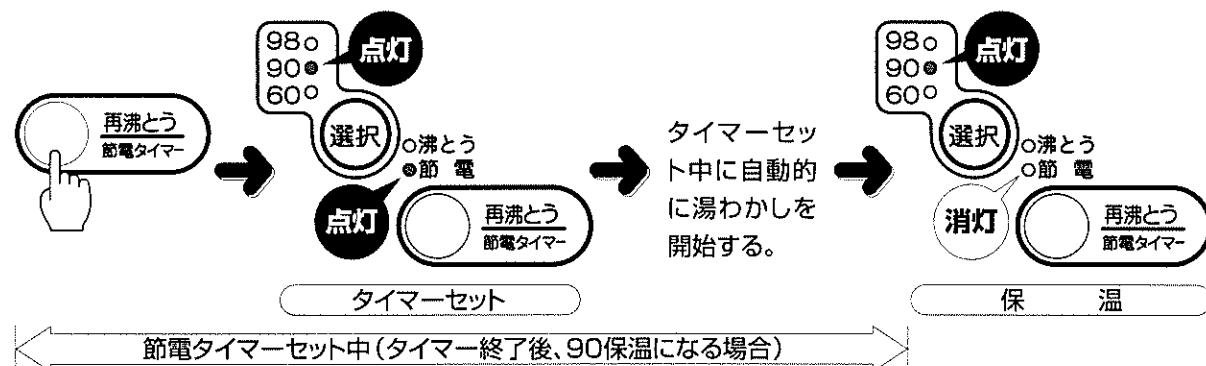
98保温	約2〜5分
90保温	約5〜7分
60保温	約12〜16分

※水をつぎ足したり、プラグを差し込みなおしたときは、さらに約3〜4分長くなります。

9 節電タイマーの使いかた

お湯のわきあがる時間を、6時間後に設定できます。電気代が節約できます。

節電タイマーのセットのしかた

再沸とう/節電タイマー キーを押して、節電タイマーランプを点灯させてください。
●タイマーセットすると終了1時間前から、湯わかしを開始します。

節電タイマーのセットを解除して、湯わかしをする場合

再沸とう/節電タイマー キーを押して、沸とうランプを点灯させてください。保温ランプが点灯から点滅に変わり、湯わかしが開始されます。

●節電タイマーをセットすると60保温は選択できません。また給湯もできません。

10 仕様

サイズ		2.2Lタイプ	3.0Lタイプ
容量（約）		2.2L	3.0L
電源		交流100V 50-60Hz	
消費電力	湯わかし電力	905W	905W
	平均保温電力	31W	34W
外形寸法（約）（とっ手を倒した状態）	幅	22.0cm	22.0cm
	奥行	28.0cm	28.0cm
	高さ	25.5cm	29.5cm
質量（約）（電源コードを含む）		2.3kg	2.4kg
温度ヒューズ		157℃	
コードの長さ		1.2m	
電動ポンプの定格（約）		1.5W	

●保温時の消費電力は、水量・満水、水温・90保温（90℃）、室温・20℃、電圧・交流100Vの場合の平均保温電力です。
●特定地域（高山（こうざん）・厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はお避けください。

沸とう時間・選択した保温温度になるまでの時間の目安

	2.2Lタイプ	3.0Lタイプ
沸とうするまで（98保温）	約20分	約30分
沸とうしてから90保温になるまで	約1時間10分	約1時間30分
沸とうしてから60保温になるまで	約5時間	約6時間

（水量・満水 水温、室温・20℃ 電圧・交流100V）

11 お手入れのしかた

●水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。
●丸洗いは絶対にしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
●お手入れするときは、プラグをはずし、残り湯を捨てて、本体が冷えてから行ってください。
●洗剤・シンナー・クレンザー・金属たわし・化学ぞうきん・ナイロンたわし・漂白剤などは使わないでください。
●食器洗い乾燥機、食器乾燥器に入れて乾燥させないでください。変形の原因になります。

内容器のお手入れ

内容器の色むらや変色、水中の白い浮遊物について

内容器にできるサビのような赤いはん点、乳白色・黒色・虹色などの変色、白い浮遊物は、水に含まれるミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）の作用によるものです。内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、こまめにお手入れしてください。

①通常はメッシュフィルターをはずしてからスポンジで洗ってください。

●クレンザーやたわし類を使わないでください。フッ素加工面が傷み、汚れが落ちにくくなります。
●フッ素加工をしていても長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなったり、湯わかし中の音が大きくなったりしますので、こまめにお手入れしてください。
●カラだきによる変色はとれません。

②スポンジで洗っても落ちにくい汚れは、クエン酸（別売）で洗浄（2～3ヶ月に1回）してください。（15ページ参照）
クエン酸は当社の「電気ポット内容器洗浄用クエン酸」（品番:PKS-0120）をお使いください。

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を湯わかしした場合は、内容器にカルシウム分が付着しやすくなったり、また付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐ場合があります。故障の原因にもなりますのでよりこまめにお手入れしてください。

上ぶた・本体外側のお手入れ

よくしぼったふきんで汚れをふき取ってください。

メッシュフィルター

内容器からはずしてブラシなどでこまめに洗ってください。目づまりするとお湯が出にくくなります。洗ったあとは必ず内容器に取りつけてください。

長期間ご使用にならないときは

上ぶた、本体、内容器などの汚れを落とし、乾いた布でふき、自然乾燥してください。
（特に内容器は充分に）
保管するときは、ポリ袋などで密封してゴキブリなどが入らないようにしてください。

11 お手入れのしかた

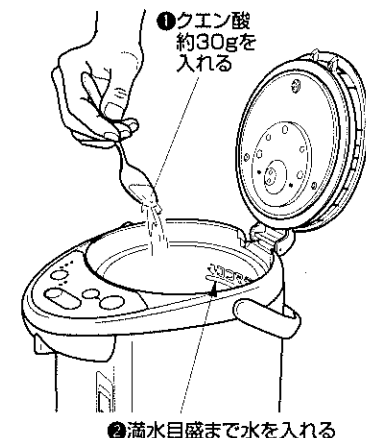
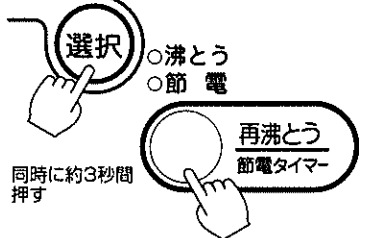
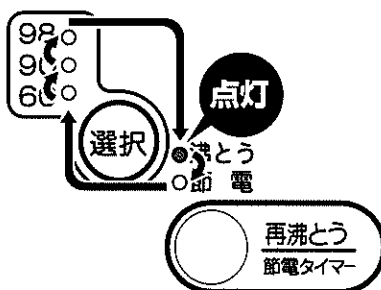
クエン酸を使っての内容器の洗浄のしかた

下記の内容を必ず守ってください。泡立ってお湯がふきこぼれたり、やけどのおそれがあります。
- ●お湯は入れないでください。必ず水から洗浄を行ってください。
- ●満水目盛以上の水を入れないでください。
- ●洗浄中は、上ぶたを開けないでください。

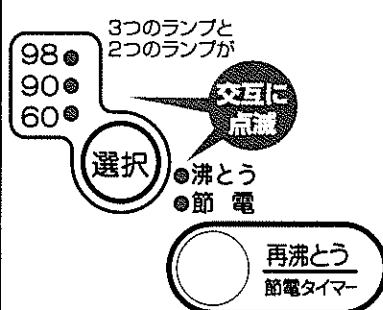
※クエン酸での洗浄中は、他の操作や機能は使えません。

1 メッシュフィルターは内容器に取りつけておく。

2 クエン酸約30g（大さじ2～3杯）を内容器に入れる。

3 満水目盛まで水を入れて混ぜ合わせ、上ぶたを閉める。

4 プラグを差し込み、(選択)キーと(再沸とう/節電タイマー)キーを同時に約3秒間押し続ける。

洗浄が開始されます。
洗浄中はランプが、沸とう→節電→60→90→98と順に点灯して知らせます。

●クエン酸洗浄中は、沸とうしますので蒸気にご注意ください。

洗浄時間は約1時間30分以内

5 洗浄が終わると3つのランプ（98・90・60）と2つのランプ（沸とう・節電）が交互に点滅した状態になります。

6 プラグをはずしてお湯を捨て、汚れが残っている場合はスポンジでこすり落とし、水で充分すすぐ。
※汚れが落ちにくい場合は、水ですすいだ後、再度クエン酸と水を入れて同じ操作を行ってください。

7 クエン酸のにおいを取るため、水だけで再度通常通りにわかしてお湯を捨てる。

クエン酸は、お求めのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→18ページ参照）で、品番:PKS-0120「電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）」とご指定のうえ、お問い合せください。
※内容器洗浄用クエン酸は食品添加物につき、食品衛生上無害です。

12 故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

こんなときは	ここを見て	こう処理してください	参照ページ
ランプが交互に点滅する。（カラだき報知機能が作動）	●カラまたはごく少量の水量で湯わかししていませんか。 ●お湯を使いきったまま長時間放置したり、給水するために上ぶたを開けたままで放置していませんか。	プラグを抜き、水を「給水」マーク以上まで入れて、しばらくしてからプラグを差し込んでください。	8
お湯がわかない。すべてのランプがつかない。	●プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	7
操作・表示部のランプがすべて消えた。	●プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	7
沸とうランプに切り替わらない。	●約50℃以上のお湯を入れていませんか。	少しさめたお湯か水を入れてください。	10
		(再沸とう/節電タイマー)キーを押して沸とうさせてください。	12
お湯が出ない、出にくい。	●プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	7
	●自動ロックになっていませんか。	(ロック解除)キーを1回押してください。ロック解除ランプが点灯して、給湯ができます。	9
	●沸とう直後ではありませんか。	沸とう直後に給湯しますと、お湯が出にくくなることがあります。蒸気に注意して、一度上ぶたを開けてください。	9
	●内容器やメッシュフィルター、内部のポンプが汚れているとお湯が出にくくなることがあります。	内容器をクエン酸で洗浄してください。	15
お湯が自然に出る。	●水を「満水目盛」以上に入れていませんか。	「満水目盛」以下にしてください。	8
お湯がにおう。	ご使用当初は、樹脂などのにおいがすることがあります。ご使用とともに少なくなります。		
	●水道水に含まれるカルキ（消毒用塩素）のにおいではありませんか。	「カルキぬき」でお湯をわかしてください。	12
	●ビニールシートなどの敷物の上で使用していませんか。	ビニールシートなどの敷物の上で使用すると、お湯に敷物のにおいが移ることがあります。	
内容器が汚れている。お湯に白い浮遊物が浮く。	●水に含まれるミネラル成分の作用によるもので内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。	内容器をクエン酸で洗浄してください。	15
湯わかし中に「ゴー」という音がする。	湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。		8
	●内容器が汚れていませんか。（内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。）	内容器をクエン酸で洗浄してください。	15
本体外側が熱い。	室温の高い部屋で保温を続けると、本体外側が熱くなることがあります。異常ではありません。		

※樹脂成形品の一部に線状および波状の箇所が見える場合がありますが、これはウエルドラインおよびフローマーク（樹脂成形時に発生する線状および波状の跡）で、ご使用上の品質に支障はありません。

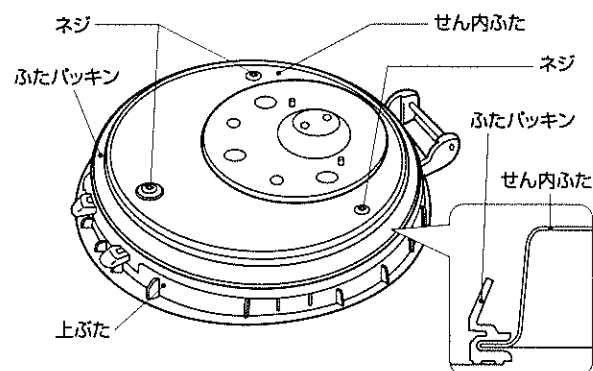
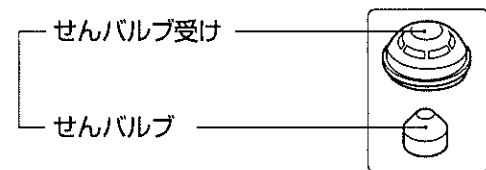
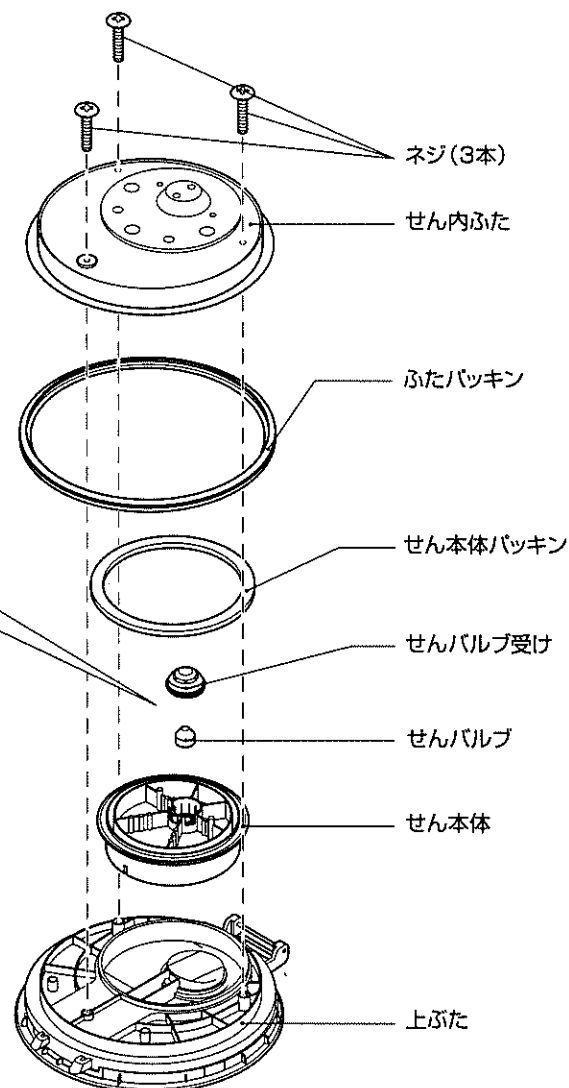
13 消耗部品の取り替えについて

ふたパッキンおよびその他のパッキン類は消耗部品です。水質や使い方により異なりますが、ご使用にともない傷んできます。汚れや破損がひどくなったり、上ぶたのすき間から蒸気がもれだしたら、新しいふたパッキンと交換（有償）してください。

ふたパッキンのはずしかた

①3本のネジをゆるめる。
※ネジはゆるめるだけでせん内ふたを上ぶたからはずさないでください。完全にはずすとその他の部品がはずれるなどをして蒸気もれやお湯が出ない原因になります。
②ふたパッキンをはずす。

ふたパッキンのつけかた

①せん内ふた外周に、ふたパッキンを図の通りにきっちりと均等にはめ込む。
②最後にネジを確実に締めつける。

ふたパッキンは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→18ページ参照）で、部品番号：PDA1090とご指定の上お問い合せください。
※ふたパッキンを交換しても不具合の時は、その他のパッキン類、成形品などが傷んでいる場合がありますので、お問い合せの上ご相談ください。

必ずこのイラストの通りの方向でセットする。
（まちがうとお湯がふきこぼれ、やけどをするおそれ）

メッシュフィルター

内容器のクエン酸洗浄時に取りつけて洗浄しても汚れが取れない場合は交換してください。
交換用のメッシュフィルターは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→下記参照）で、「タイガー電気ポット用交換用メッシュフィルター」部品番号:PVF1045とご指定の上お問い合せください。

樹脂成形品について
※熱や蒸気にふれる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。